

(別記様式2)

公の施設のあり方検討結果個表

施設の名称	群馬の森		
所在地	高崎市綿貫町992-1		
所管部局・課	都市計画課	現在の運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者
担当係	公園緑地係	内線	3543

1 施設の設置根拠(法律、条例等)

都市公園法、群馬県立公園条例

2 施設の役割

(1) 設置目的

「明治百年記念事業」として計画された公園であり、平野部の貴重な樹林地の保全・活用を図るとともに、県民の文化・レクリエーション活動の拠点として設置。

(2) 設置当初の状況

平野部の貴重な樹林地の保全・活用と、県民の文化・レクリエーション活動の拠点

(3) 施設を取り巻く現状

開園後40年以上が経過する中で、施設が老朽化するとともに、利用者の要望も年々多様化しており、施設の更新や運営の見直し等が求められている。

3 施設の概要

設置年月日	昭和49年10月
敷地面積(所有者)	26.2ha(群馬県・財務省・日本原子力研究所)
主な施設(床面積、階数等)	公園管理事務所(鉄骨造、建築面積78.66平方メートル)、守衛室(鉄骨造、建築面積21.9平方メートル)、芝生広場(約4ヘクタール)、遊具
建設費	1,020 百万円
備考	—

※1 施設数の区分が多い場合は、別紙も可

※2 備考欄には、過去の大規模改修等の状況を記入

◇入園料・利用料等 (円)

◇利用時間(休館日)

区分	金額	
一般	無料	【開園時間】 夏(4月～9月) 7:30～18:30 冬(10月～3月) 8:00～17:30
大学生・高校生	無料	
		【開園日】 年中無休

※ 入園料・利用料等の区分が多い場合は、別紙も可

4 施設における実施事業

【指定管理者による自主事業】

- ・ノルディックウォーキング教室:ノルディックウォーキングの講習
- ・青空ヨガ教室:芝生の上で屋外ヨガ教室
- ・県民の日イベント:副産物を利用した無料工作物の配布
- ・マラニック大会:障害者と健常者の交流をはかるウォーキング教室
- ・どんぐり売店:かき氷、焼きそば、うどん等の販売

※ 指定管理者が自主事業を行っている場合は、区分して記入

5 管理運営コストの状況

区 分	令和4年度(当初予算額)	令和3年度(決算額)	令和2年度(決算額)	令和元年度(決算額)	平成30年度(決算額)
歳 入(①)	6,350,000	2,101,071	327,263	434,836	856,021
使用料	10,000	245,266	10,689	86,746	282,274
雑入(都市計画課)	400,000	370,805	316,574	348,090	573,747
雑入(都市計画課(公共施設命名権収入))	5,940,000	1,485,000			
歳 出(②)	48,500,000	49,064,210	48,460,210	48,464,197	50,463,600
指定管理料	36,000,000	36,000,000	36,000,000	36,000,000	33,000,000
修繕費	12,500,000	13,064,210	12,460,210	12,464,197	17,463,600
歳入・歳出の差額(①-②)	-42,150,000	-46,963,139	-48,132,947	-48,029,361	-49,607,579
歳入・歳出の主な増減理由					

※1 施設の管理運営に係る県の歳入・歳出を記入(総務調整費等からの支出も含める。指定管理者の収支ではない。)

※2 人件費は、常勤職員と非常勤職員を区分して記入

※3 歳入・歳出科目は適宜加除修正すること

※指定管理制度導入施設は、次の項目を追加して記入

◇指定管理者の収支状況(指定管理業務に係る部分のみ)

(千円)

区 分	令和4年度(当初計画額)	令和3年度(決算額)	令和2年度(決算額)	令和元年度(決算額)	平成30年度(決算額)
収 入(①)	40,775	42,689	40,004	40,824	39,018
指定管理費	36,000	36,000	36,000	36,000	33,000
利用料収入	300	202	70	295	257
電気水道料		2,832	2,759	3,180	3,409
その他(雑収入)		55	110		
自主事業収入	4,475	3,599	1,066	1,349	2,353
支 出(②)	40,775	42,886	39,416	39,840	38,502
人件費	15,178	12,022	12,422	12,186	16,191
維持管理費	6,289	8,522	9,899	10,334	10,543
事務費	3,597	3,114	1,701	1,485	1,900
委託料	2,340	13,391	12,474	11,064	6,460
その他(賃金、原材料費、負担金)	8,896	2,235	2,443	4,406	1,687
自主事業費	4,475	3,602	478	365	1,721
収支(①-②)		-197	588	984	517
歳入・歳出の差額、収支 の主な増減理由					

※1 指定管理者の指定管理業務に係る収支を記入(指定管理者団体全体の収支ではない。)

※2 収入・支出科目は適宜加除修正すること

6 職員の状況(各年度4月1日現在)

(人)

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
常勤職員	7	7	8	8	7
非常勤職員	3	4	3	3	3
合 計	10	11	11	11	10

※ 指定管理者導入施設については、主に指定管理業務に従事する職員数を記入(主に自主事業業務に従事している職員、一部指定管理業務に従事しているが大部分を他の会社(団体)業務等に従事している場合は記入しない。)

7 施設利用の状況

区 分	令和4年度※1	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
年間利用者総数(人)	88,218	347,480	355,596	500,308	518,963
有料利用者数(人)					
無料利用者数(人)	87,358	347,480	355,596	500,308	518,963
目標利用者数(人)※2	570,000	570,000	570,000	570,000	570,000
施設稼働率(%)※3					
稼働率対象施設(設備)					
利用者の主な増減理由	令和2年度から新型コロナウイルス感染拡大の影響により、来園者数が減少した。				

※1 見込数又は途中実績を記入

※2 目標利用者数を設定していない場合は無記入

※3 施設稼働率の概念が当てはまらない施設は無記入

8 必要性及び管理運営方法についての方向性

区 分	内 容
施設の必要性	<p>本公園は、県立歴史博物館・近代美術館と調和した芝生広場が整備されるなど、県民の文化・レクリエーション活動の拠点として、県内外から年間約52万人の来園者がある広域的な利用がされている大規模公園である。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大後においても年間約35万人に利用されており、県民ニーズ・社会的ニーズは高く、県の施設として、引き続き、現状のまま存続させる必要がある。</p>
業務等の見直し	<p>現在の指定管理者制度を活用した維持管理に関して、指定管理者評価委員会及び利用者アンケート結果からも良好な評価を得ており、引き続き、指定管理者制度を活用した効率的な維持管理を行うことで、公園管理水準の維持・向上を図るとともに、県立歴史博物館・近代美術館と調和した、県民の文化・レクリエーション活動の拠点として、多くの県民が憩い、快適に利用される公園を目指したいと考えている。</p>